

性については学校でも学ぶ機会がありますが、家庭においても学ぶ必要があると考えられています。でも、「子どもとどのような話をしたいかわからない」と悩まれる保護者も多いことでしょう。

今回の家庭教育支援者を対象にした研修会では「性について何をポイントとして保護者に伝えたいのか」をご講演いただきました。

講演 「家庭教育支援者として 理解しておきたい性教育」

助産師

東海林 みゆき 氏

「**包括的性教育**」とは、

従来の性教育だけではなく人間関係、ジェンダーへの理解、性的多様性、人権など、より幅広いテーマを扱う教育のことです。

2009年、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）により「国際セクシャリティ教育ガイダンス」が公開され、これからの日本の「性教育」に必要不可欠な指針とされています。

性の知識を正しく伝えることだけが性教育ではない。

“世の中でたった一つの設計図で誕生したあなた”

“かけがえのない命” “あなたが大切”

**自分を大切に思えるような
土台づくりがポイント！！**

参加者からの感想

☆包括的性教育という言葉を知りました。幸せに生きるための土台の部分だと分かり、今までやってきた自分の性教育で伝えきれていなかったことはこれだったんだと思い当たりました。

☆東海林さんのお話を聞いた中学生の感想が心に響きました。「自分を大切にしてい」と感じて、行動する子どもたちが育ってほしいと改めて思いました。最後のごあいさつでいただいた「頑張りすぎない支援者！」の言葉で心が軽くなりました。

～「家庭教育支援チーム」について～

津山教育事務所管内の10市町村すべてにおいて家庭教育支援チームが設立されています。

家庭教育支援チームの活動

- ◎ 『保護者への学びの場の提供』
…親育ち応援プログラムの実施
- ◎ 『地域の居場所づくり』
…情報提供や交流の場の提供
- ◎ 『訪問型家庭教育支援』
…家庭訪問等による個別の情報提供、相談

※各市町村によって活動形態は様々です。

上記3つの活動すべてを行っているわけではありません。

多くの学校・園においてはPTA等の活動として「親育ち応援学習プログラム」（通称：親プロ）を実施していただいております。そのプログラムの進行役（ファシリテーター）を主に家庭教育支援チーム員が行っています。

親プロの実施を考えられた際には、各市町村の教育委員会にぜひご相談ください。

